

◇田 口 繁 男 君

○議長（後松一成君） 次に、8番の田口繁男君の一般質問を許可いたします。8番、田口繁男君。

（8番 田口 繁男君 登壇）

○8番（田口繁男君） 美郷町で私としては最後の一般質問となると考えております。どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

まず、通告一つ目、多目的ふれあい文化センター建設をとの題でご質問させていただきます。旧3カ町村それぞれ昭和50年前半、千畑村は環境改善センター、また、仙南村はこれも村で環境改善センター、同じころの建設、六郷は町として公民館という名前で建設されて、いろいろ考えてみれば30年余りになっている建物でございます。

そこで、私はこの美郷町合併に期して美郷町社会教育全般を考えた今後の教育施設として、美郷町のシンボルとなる文化ふれあいセンター建設を要望するものであります。

これはあすあすに建設しなさいとは私は言うものでもありませんが、合併についていろいろな合併特例債があります。それぞれ私も建設計画に委員として参加してまいりましたが、これは全体として、やっぱり当局案については最後は賛成せざるを得なかったと思っております。だが、それぞれ地域の3カ町村において、その地域の個性ある社会教育、その地域にはそれぞれ活用されていることをそれは望んでおりますが、合併を期して、そういうシンボリックな美郷町の全体としたひとつの建設を今後5年ないし7年にわたってそれを望むものであります。

これは、私から言うまでもなく、建物としては100年近い立木が畑屋財産区、そういうところにちゃんと美郷には財産として残っております。よく見てその100年の木を有効かつこれからの建築は人に優しい木造建築、そういうものも国、県でも進めておりますので、そして、より地域の雇用、そういうものにやっていってもらいたいと考えております。今後、いろいろの建物はたくさんあると言えませんが、一つシンボリックなそういう建物を私は建設して、町民総参加のより融和と前進の唱えてきました町長にひとつお伺ひしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○議長（後松一成君） 8番、田口繁男君の一般質問に対する答弁を求めます。松田町長。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） 田口議員のご質問にお答えいたします。

多目的ふれあい文化センター建設についてですが、これまで美郷町全体に係る各種行事については、参加人員などの規模を踏まえ、それぞれふさわしい施設を選択し、開催してきております。ちなみに、主な施設の収容人員は仙南公民館、多目的ホールが400名、ふれあいセンター多目的ホールは250名、六郷公民館ホールが200名、千畑交流センターホールが200名となっております。また、それ以上の人員の行事につきましては、各地区にある体育館を活用することになります。

議員ご存じのとおり、現在自治体を取り巻く財政環境は大変に厳しいものです。施策、制度の見直しや経常経費の抑制、町の借金である公債費の抑制などが求められます。こうした環境の中では、現在ない施設、機能は別としまして、ある施設、機能については住民利用の利便性を基本としながらも、いかに有効活用していくかが求められているものと存じます。

こうしたことを踏まえたと、ここしばらく各地区の施設が利用できる状況においては、新たな多目的ふれあい文化センターの建設は考えられない状況ですので、どうかご理解いただきたいと存じます。

議員のおっしゃっております住民融和については、大変に重要なことと認識しております。既存施設の利用を前提にしまして、住民の融和がより一層進んでいくよう今後とも各般にわたって配慮しながら、町政運営に努めてまいりたいと存じます。

以上で答弁を終わります。

○議長（後松一成君） 田口繁男君。

○8番（田口繁男君） はい、わかりました。

次に、町の日制定についてでございます。

町の日制定についてでございますが、我が美郷町は秋田県第1号、これは我々議員は自負するにいい一つの考えと思っております。それは、議員発議と言ってもよいくらい、3町の議会、特に仙南、六郷、千畑、議長、旧議長さんにおかれまして、この住みよい奥羽山系の裾野の3町が誕生したことは、本当にこれは町民、また、当局もいろいろ苦勞なさったと思っておりますが、本当に普通であれば1年以上、それが全県でも本当に珍しく早々誕生したことをこれを記念して、町の日制定、特にこれは町民総参加のそういう行事をして、いろいろの地域のイベントを考えて、より期日をこれからひとつ当局としても考えて、町の日制定をお願いしたいものであります。町長にお伺いいたします。

○議長（後松一成君） 答弁、松田町長。

○町長（松田知己君） お答えいたします。

町の日制定についてですが、ご提案の町の日制定は、議員の意図するところは、町の記念日の制定と理解いたします。美郷町が千畑、六郷、仙南、それぞれの町村の長い歴史を引継ぎ誕生したことを、何かの機会に町民それぞれが再認識し、改めてまちづくりに向けてその気持ちを高めていくことは、極めて大事で、必要なことと存じます。そのため、町の記念日を制定することは、町にとりましても、町民にとりましても、その機会を得るという意味において大変意義深いものと存じます。

しかし、町の記念日が有する意義や役割、内容などは、町民の視点でじっくりと思慮、整理が必要と存じますので、いずれ制定することとし、今後検討してまいりたいと存じます。

以上をもちまして、答弁を終わります。

○議長（後松一成君） 再質問はありますか。

○8番（田口繁男君） ありません。よろしくお願ひ申し上げます。

以上をもって一般質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（後松一成君） 以上で8番、田口繁男君の一般質問を終結いたします。